

「令和5年度伊達市ふれあい懇談会（月舘地域）」発言録

日 時：令和5年11月17日（金）

18時30分～19時45分

場 所：月舘ふるさとふれあいホール

○市長：説明「市長あいさつ、伊達市の6つのまちづくりについて」（要旨別紙参照）

【質疑応答】

まちづくり・地域振興関連

■「おての里きてみ～な」について

市 民：糠田地域振興会が「おての里きてみ～な」のオープニングで紅白餅の振る舞いを行った。90kg 近いお米を用意して餅をついた。大変であったが、シルバーパワー高齢者の技術は素晴らしいものがあった。高齢者には色々な力がある、宝である、高齢になるから悪いものではなく光るものもある。

問題はオープニングで終わりではなく、これからである。よく前を通るが、暗い時もある。でも先日、3階の電気がこうこうと点いてうれしかった。伊達市の不夜城として「おての里きてみ～な」の振興、活性化もお願いしたい。振興策についていつまでどのようなことを考えているのか教えてほしい。

カフェは14時までと言われた。まだまだ宣伝不足は否めない。食は大事な取り組みである。カフェの考えも聞かせてほしい。

未来政策部長：オープニング当日、地域の皆様に盛り上げていただき感謝申し上げる。

いかに皆さんにご利用いただくか、これからが「おての里きてみ～な」の課題であると思うのでPR、営業活動に力を入れていきたいと思う。明日11月18日土曜日は満員40名の予約が入っていると公社から聞いている。

カフェは、地元食材を活用したり市外業者が入りながら週末の営業を行っていく。施設管理を委託しているつきだて振興公社でも、学校で食べる様なオリジナルメニューを企画していると聞いている。

「おての里きてみ～な」は糠田自治振興会の活動拠点としての活用もされることから、振興会の方々と一緒になって花工房、月舘グラウンドと一体となった誘客を考えていきたい。

生活環境関連

■防災無線について、空き家について

市 民：布川に旧月舘小学校がある。その近辺に防災無線があるが、近所の方が聞こえないという話がある。何らかの対策ができないだろうか。

小学校近辺に住んでいるが空き家が9件存在している。近くに親族が住んでいないため心配であるし、1件は窓が空いており何かあったら危険である。駐在所にもパトロールの相談をしている。

危機管理担当参事：防災無線が聞こえにくい件について、市全体で76か所の屋外スピーカーを設置しているが、場所や雨風が強いと聞こえにくいという事象が発生してしまう事は市としても認識している。工夫しながらやっているが、なかなか市全体をカバーするのは難しいと考えている。対応策として、スマートフォンアプリを用いて防災情報、河川情報を配信する事ができるため、そちらの活用をお願いしたい。

未来政策部長：空き家に係る対応としては我々から持ち主にご連絡をして、適切な管理をお願いしているところである。ただ、遠方だという事であればシルバー人材センターと空き家管理に係る協定があるので、これを空き家の持ち主とシルバー人材センターで結んでいただき、草刈りや見回りを行っていただくのも可能である。空き家が劣悪な状況になり、放置するのも危険だという事になれば「特定空き家」の指定をして別途対応することになるため、その際はご連絡をいただきたいと思う。

子ども・教育関連

■月舘町の歴史について

市 民：月舘は歴史的なものがたくさんあるのに、お知らせするものがない。道の駅にあるような看板みたいなものを設置できないか。積極的にPRをしてほしい。

未来政策部長：市全体での統一した形の看板を計画途中である。どこまで詳しく掲載できるかは不確定だが、順次進めていく。

産業部長：観光による誘客について、歴史のパンフレットが現在あるが改めて整理をさせて頂き、月舘町の歴史的なものや月見舘のキャンプ場等に誘導を行っていきたい。

農林業・商工業・観光関連

■鳥獣被害について

市 民：私たちの地域にはサルが来て、桃の時期になると山から下りてきて美味しい桃を食われてしまう。今年は頭数が多くなってきた。市からも助成をいただいているが、駆除しないといけないと思う。駆除隊に対してイノシシと同等の補助金を出すとか、県に駆除期間の延長などの要望を行っていく必要がある。このままだとまちの方にも下りてきて悪さをするのではないかと心配。

産業部長：今年度についてサルの報償費は倍増させていただいた。10月末日の数字で6頭の

サルが捕獲されており、全て霊山で捕獲されたものである。ただ、被害報告件数に関しては、月舘地域は21件の被害が報告されている。対策としては、捕獲を強化していく事にはなるが、追い払うということも地道に続けていく必要があると思う。皆さんに花火等を配布してそれぞれ対応していただいているが、地域ぐるみで対策の方向性を決めていく県の制度もあるので、その活用も考えている。